



## 2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月14日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5210 URL <https://www.yamamura.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 昇  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 杉本 雅美 TEL 06-4300-6000  
 定時株主総会開催予定日 2025年6月26日 配当支払開始予定日 2025年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期の連結業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	73,337	0.6	3,108	△30.2	3,215	△46.9	2,772	△77.4
2024年3月期	72,874	7.0	4,452	—	6,059	—	12,261	—

(注) 包括利益 2025年3月期 3,838百万円 (△72.8%) 2024年3月期 14,114百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	271.54	—	5.2	3.4	4.2
2024年3月期	1,200.73	—	27.6	6.7	6.1

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 111百万円 2024年3月期 1,148百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	94,853	54,377	57.8	5,359.18
2024年3月期	94,144	51,593	54.6	5,036.57

(参考) 自己資本 2025年3月期 54,782百万円 2024年3月期 51,429百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	6,652	△5,559	△1,484	10,791
2024年3月期	5,663	7,722	△10,119	10,891

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	510	4.2	1.2
2025年3月期	—	30.00	—	105.00	135.00	1,429	49.7	2.6
2026年3月期(予想)	—	75.00	—	75.00	150.00		51.1	

(注) 2025年3月期配当金総額には、株式付与E S O P信託が保有する当社株式に対する配当金が含まれております。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,000	△2.0	2,200	△8.6	2,900	6.7	2,300	9.5	225.00
通期	74,000	0.9	3,300	6.2	3,900	21.3	3,000	8.2	293.48

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 有

新規 1社 (社名) 山村JR貨物きらベジステーション株式会社  
 除外 1社 (社名) 台湾山村光學股份有限公司

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 有  
 ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、[添付資料] 14ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更に関する注記)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期	11,145,249株	2024年3月期	11,145,249株
② 期末自己株式数	2025年3月期	923,075株	2024年3月期	934,022株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	10,210,996株	2024年3月期	10,211,611株

(注) 2025年3月期の期末自己株式数および期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式付与E S O P信託が保有する当社株式が含まれております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	47,153	△0.7	1,652	△50.8	2,513	△43.8	1,922	△84.8
2024年3月期	47,465	13.3	3,356	—	4,470	—	12,620	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	188.30	—
2024年3月期	1,235.94	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	78,627	43,099	54.8	4,216.32
2024年3月期	79,636	41,807	52.5	4,094.25

(参考) 自己資本 2025年3月期 43,099百万円 2024年3月期 41,807百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関する事項は、[添付資料] 4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計上の見積りの変更に関する注記) .....	14
(セグメント情報等の注記) .....	14
(1株当たり情報の注記) .....	16
(重要な後発事象の注記) .....	16
4. その他 .....	16
(1) 役員の異動 .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、個人消費の持ち直しや企業収益の改善がみられ、一部に足踏みもみられますが緩やかに回復しました。一方で、物価上昇の継続等、景気の下振れ懸念があり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは3ヵ年の中期経営計画の2年目を迎えました。これからも様々な課題に長期的に挑戦していく事業基盤が肝要であるとの思いをこめて中期経営計画は「成長に向けた事業基盤の整備」をテーマとし、「財務基盤の整備」「既存事業を強化する仕組みづくり」「新しい事業を構築する準備」「循環型社会の実現に向けた開発」「従業員が誇りを持って働きたいと思える会社づくり」という5つの経営方針を推進し、グループ一体となって業績向上に取り組んでおります。

こうした環境の下、セグメント売上高は、ガラスびん関連事業が減収となりましたが、プラスチック容器関連事業、物流関連事業、ニューガラス関連事業、その他事業においては増収となり、当連結会計年度の連結売上高は73,337百万円（前期比0.6%増）と増収となりました。

利益につきましては、連結営業利益は3,108百万円（前期比30.2%減）と減益となりました。前連結会計年度は、米国の関連会社からの貸付金が全額返済されたこと等により、持分法による投資利益1,148百万円を計上しましたが、当連結会計年度はそのような特殊要因がなく、持分法による投資利益は111百万円（前期比90.3%減）となり、連結経常利益は3,215百万円（前期比46.9%減）と減益となりました。さらに前連結会計年度に計上した固定資産売却益や関係会社出資金売却益等の特殊要因がなく特別利益が減少し、減損損失等を計上したことにより特別損失が増加しました。また、当社および一部の連結子会社は翌連結会計年度よりグループ通算制度を適用することとしており、繰延税金資産を追加計上したことにより法人税等調整額△626百万円を計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は、2,772百万円（前期比77.4%減）と減益となりました。

事業セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### ① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、価格改定や品種構成の影響で販売単価が上昇したものの、国内ガラスびん業界の出荷量は前期比94.4%となり当社においても減少し、セグメント売上高は47,043百万円（前期比△1.5%減）と減収となりました。セグメント利益は、当社における出荷量・生産量の減少、燃料・動力価格の高止まりに加え、減価償却費や物流費、労務費等の増加により、2,143百万円の利益（前期比△42.3%減）と減益となりました。

#### ② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、国内における飲料用キャップの出荷の増加や中国の子会社の販売が好調なことに加え、当社における価格改定による飲料用キャップの販売単価の上昇等により、セグメント売上高は8,269百万円（前期比9.4%増）と増収となりました。セグメント利益は、主に中国の子会社において、販売量が増加したことに伴い生産量増となったこと等により、563百万円（前期比30.9%増）と増益となりました。

#### ③ 物流関連事業

物流関連事業では、新規営業所開設等による取扱い物量の増加があり、セグメント売上高は14,744百万円（前期比0.6%増）と増収となりました。セグメント利益は、作業・配送効率の改善や不採算案件の取引条件改定等による損益改善により、769百万円（前期比18.1%増）と増益となりました。

#### ④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、当社における電子部品用ガラスの出荷が堅調に推移し、国内子会社における光通信用キャップ部品の出荷の増加もあり、セグメント売上高は3,107百万円（前期比13.0%増）と増収となりました。セグメント利益は、国内子会社における出荷や生産量の増加、コスト削減等の損益改善により、186百万円（前期は△197百万円の損失）となりました。

その他事業では植物事業を含み、セグメント売上高は172百万円（前期比12.5%増）、セグメント利益は△269百万円の損失（前期は△90百万円の損失）となりました。なお、当連結会計年度より重要性が増したため、山村J R貨物きらベジステーション株式会社を連結の範囲に含めております。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ709百万円増加し、94,853百万円となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が1,082百万円減少したものの、関係会社株式が1,203百万円、繰延税金資産が673百万円増加したこと等が主な要因です。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,074百万円減少し、40,476百万円となりました。これは、有利子負債が775百万円増加したものの、未払金が2,266百万円、支払手形及び買掛金が880百万円減少したこと等が主な要因です。

純資産については、前連結会計年度末に比べ2,783百万円増加し、54,377百万円となりました。これは、利益剰余金が1,820百万円、為替換算調整勘定が1,669百万円増加したこと等が主な要因です。自己資本比率は3.2ポイント上昇して57.8%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下、資金という。）は、前連結会計年度末より99百万円減少し、10,791百万円となりました。

各活動における資金増減の内容は、以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

法人税等の支払額（967百万円）や仕入債務の減少（799百万円）等があったものの、税金等調整前当期純利益（2,254百万円）や減価償却費（3,948百万円）、売上債権の減少（1,297百万円）等により、6,652百万円の資金増加（前期は5,663百万円の資金増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出（5,713百万円）等により、5,559百万円の資金流出（前期は7,722百万円の資金増加）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

社債の発行による収入（987百万円）等があったものの、配当金の支払額（814百万円）や長期借入金の減少（純額で669百万円）、リース債務の返済（416百万円）等により、1,484百万円の資金流出（前期は10,119百万円の資金流出）となりました。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

		2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3
自己資本比率	%	49.0	41.0	42.6	54.6	57.8
時価ベースの自己資本比率	%	10.6	8.6	7.9	18.6	23.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	年	7.0	6.4	20.7	4.2	3.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ	倍	10.3	17.1	6.2	22.7	30.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

\*いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

\*株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により計算しております。

\*営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

\*有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

\*利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しといたしましては、雇用・所得環境の改善が継続する中、国内景気は緩やかな回復が続くと期待されていますが、物価動向や海外経済の不確実性等の国内景気を下押しするリスクも懸念され、引き続き先行きは不透明な状況で推移していくものと予想されます。

当社グループを取り巻く環境は、コア事業である国内のガラスびん需要は引き続き他素材容器への転換や少子高齢化等により漸減傾向にあると予想されます。原燃料価格については高止まりが続いており、原油価格や為替レートにより変動が大きくなる可能性があり、経営環境は楽観視できない状況が続くものと考えております。

このような状況において、3ヵ年の中期経営計画の最終年度として山村グループ一体となってさらなる業績改善に取り組んでいく所存であります。これらの結果、翌連結会計年度の連結売上高は74,000百万円（前期比0.9%増）、連結営業利益は3,300百万円（前期比6.2%増）、連結経常利益は3,900百万円（前期比21.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,000百万円（前期比8.2%増）を予想しております。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益の配分につきましては、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本に、海外への事業展開や成長事業への投資計画、財政状態等を総合的に勘案しながら、積極的に株主の皆様への利益還元を努めていきたいと考えております。

基本方針としては、1株につき50円を下限とし、連結配当性向50%を目安に利益の増加に連動することで継続的な配当額の増加を目指します。

これらの方針と業績を踏まえ、2025年3月期の期末配当金は1株につき105円とし、中間配当金の30円と合わせて、年間配当金は1株につき135円を予定しております。

次期の配当につきましては、上記の方針に沿い1株につき中間75円、期末75円、通期で150円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応してまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,990	10,791
受取手形、売掛金及び契約資産	20,787	19,705
商品及び製品	6,954	7,002
仕掛品	266	405
原材料及び貯蔵品	1,608	1,714
前払費用	177	195
その他	927	647
貸倒引当金	△3	△52
流動資産合計	41,709	40,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,082	30,866
減価償却累計額	△25,409	△25,470
建物及び構築物(純額)	5,673	5,396
機械装置及び運搬具	79,690	81,412
減価償却累計額	△70,819	△72,226
機械装置及び運搬具(純額)	8,870	9,186
工具、器具及び備品	9,440	9,391
減価償却累計額	△8,416	△8,334
工具、器具及び備品(純額)	1,024	1,056
土地	10,415	10,415
建設仮勘定	143	285
有形固定資産合計	26,126	26,340
無形固定資産		
その他	185	441
無形固定資産合計	185	441
投資その他の資産		
投資有価証券	2,685	2,865
関係会社株式	20,698	21,901
関係会社出資金	7	103
長期貸付金	943	434
長期前払費用	120	82
退職給付に係る資産	913	774
繰延税金資産	421	1,094
その他	604	641
貸倒引当金	△270	△235
投資その他の資産合計	26,123	27,662
固定資産合計	52,435	54,444
繰延資産		
その他	—	0
繰延資産合計	—	0
資産合計	94,144	94,853

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,281	7,400
短期借入金	5,659	5,348
1年内償還予定の社債	—	1,142
未払金	4,137	1,871
未払法人税等	708	495
未払消費税等	414	383
未払費用	984	1,009
賞与引当金	867	806
役員賞与引当金	44	63
製品保証引当金	—	83
その他	737	831
流動負債合計	21,836	19,435
固定負債		
社債	1,000	857
長期借入金	15,725	16,167
リース債務	485	563
退職給付に係る負債	2,703	2,818
繰延税金負債	11	49
その他	787	584
固定負債合計	20,714	21,041
負債合計	42,551	40,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,625	16,592
利益剰余金	20,549	22,369
自己株式	△1,566	△1,530
株主資本合計	49,683	51,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	960	1,104
繰延ヘッジ損益	76	108
為替換算調整勘定	844	2,513
退職給付に係る調整累計額	△134	△449
その他の包括利益累計額合計	1,746	3,276
非支配株主持分	163	△405
純資産合計	51,593	54,377
負債純資産合計	94,144	94,853



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	72,874	73,337
売上原価	57,672	59,174
売上総利益	15,202	14,163
販売費及び一般管理費		
運搬費	3,612	3,687
旅費及び交通費	201	233
貸倒引当金繰入額	9	2
従業員給料	1,776	1,858
賞与引当金繰入額	244	230
役員賞与引当金繰入額	44	63
退職給付費用	100	84
福利厚生費	459	505
賃借料	223	247
保管費	955	1,133
租税公課	226	293
消耗品費	781	433
減価償却費	229	202
その他	1,883	2,079
販売費及び一般管理費合計	10,750	11,055
営業利益	4,452	3,108
営業外収益		
受取利息	24	11
受取配当金	510	59
設備賃貸料	93	91
持分法による投資利益	1,148	111
受取補償金	23	69
補助金収入	14	88
その他	349	185
営業外収益合計	2,164	618
営業外費用		
支払利息	238	213
減価償却費	80	68
租税公課	92	86
その他	144	141
営業外費用合計	556	510
経常利益	6,059	3,215

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	5,584	4
投資有価証券売却益	130	128
関係会社清算益	—	57
関係会社出資金売却益	2,101	—
持分変動利益	664	—
受取補償金	79	—
補助金収入	—	445
<b>特別利益合計</b>	<b>8,561</b>	<b>635</b>
<b>特別損失</b>		
固定資産売却損	3	18
固定資産廃棄損	110	55
固定資産圧縮損	—	411
投資有価証券評価損	11	—
関係会社出資金評価損	13	—
減損損失	—	913
支払補償金	—	112
製品保証引当金繰入額	—	83
事業構造改善費用	128	—
<b>特別損失合計</b>	<b>266</b>	<b>1,596</b>
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>14,354</b>	<b>2,254</b>
法人税、住民税及び事業税	888	557
<b>法人税等調整額</b>	<b>1,175</b>	<b>△626</b>
<b>法人税等合計</b>	<b>2,064</b>	<b>△69</b>
<b>当期純利益</b>	<b>12,289</b>	<b>2,324</b>
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	28	△448
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>12,261</b>	<b>2,772</b>

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	12,289	2,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	226	143
繰延ヘッジ損益	35	32
為替換算調整勘定	128	155
退職給付に係る調整額	212	△232
持分法適用会社に対する持分相当額	1,222	1,414
その他の包括利益合計	1,825	1,514
包括利益	14,114	3,838
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	14,081	4,302
非支配株主に係る包括利益	33	△464

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	14,074	16,625	8,287	△1,565	37,422
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			12,261		12,261
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	12,261	△0	12,260
当期末残高	14,074	16,625	20,549	△1,566	49,683

	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	その 他有 価証 評価 差額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	為 替 換 算 勘 定 調 整	退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当期首残高	733	41	△715	△133	△73	139	37,488
当期変動額							
親会社株主に帰属する 当期純利益							12,261
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	226	35	1,560	△1	1,820	23	1,844
当期変動額合計	226	35	1,560	△1	1,820	23	14,104
当期末残高	960	76	844	△134	1,746	163	51,593

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	14,074	16,625	20,549	△1,566	49,683
当期変動額					
剰余金の配当			△816		△816
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,772		2,772
自己株式の取得				△785	△785
自己株式の処分		△17		821	803
非支配株主との取引に係る親会 社の持分変動		△32			△32
連結範囲の変動			△118		△118
利益剰余金から資本剰余金への 振替		17	△17		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△32	1,820	35	1,822
当期末残高	14,074	16,592	22,369	△1,530	51,505

	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	為 替 換 算 勘 定 調 整 額	退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当期首残高	960	76	844	△134	1,746	163	51,593
当期変動額							
剰余金の配当							△816
親会社株主に帰属する 当期純利益							2,772
自己株式の取得							△785
自己株式の処分							803
非支配株主との取引に係る親会 社の持分変動							△32
連結範囲の変動							△118
利益剰余金から資本剰余金への 振替							—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	143	32	1,669	△315	1,530	△568	961
当期変動額合計	143	32	1,669	△315	1,530	△568	2,783
当期末残高	1,104	108	2,513	△449	3,276	△405	54,377

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	14,354	2,254
減価償却費	3,547	3,948
減損損失	—	913
持分法による投資損益 (△は益)	△1,148	△111
持分変動損益 (△は益)	△664	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8	11
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△305	114
賞与引当金の増減額 (△は減少)	252	△61
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	18
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△3	△0
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	—	83
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	△99	—
有形固定資産廃棄損	105	64
有形固定資産売却損益 (△は益)	△5,581	14
固定資産圧縮損	—	411
投資有価証券売却損益 (△は益)	△130	△128
投資有価証券評価損益 (△は益)	11	—
関係会社清算損益 (△は益)	—	△57
関係会社出資金売却損益 (△は益)	△2,101	—
関係会社出資金評価損	13	—
受取利息及び受取配当金	△534	△70
支払利息	238	213
補助金収入	—	△445
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,428	1,297
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△691	△236
仕入債務の増減額 (△は減少)	179	△799
その他	724	△77
小計	5,751	7,357
利息及び配当金の受取額	729	292
利息の支払額	△249	△217
法人税等の支払額	△707	△967
法人税等の還付額	138	186
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,663	6,652
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	90	105
有形固定資産の取得による支出	△2,430	△5,713
有形固定資産の売却による収入	6,279	8
無形固定資産の取得による支出	△47	△297
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	157	176
関係会社株式の取得による支出	—	△93
関係会社出資金の払込による支出	—	△96
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による収入	2,101	—
貸付けによる支出	△210	△35
貸付金の回収による収入	2,200	96
デリバティブ決済による支出	△232	—
補助金の受取額	—	445
その他の支出	△229	△179
その他の収入	43	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,722	△5,559

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,250	△100
長期借入れによる収入	4,990	6,427
長期借入金の返済による支出	△8,050	△7,096
社債の発行による収入	—	987
自己株式の取得による支出	△0	△785
自己株式の処分による収入	—	803
リース債務の返済による支出	△455	△416
割賦債務の返済による支出	△340	△343
配当金の支払額	△2	△814
非支配株主への配当金の支払額	△9	△11
非支配株主への払戻による支出	—	△11
その他の支出	—	△123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,119	△1,484
現金及び現金同等物に係る換算差額	79	116
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,344	△275
現金及び現金同等物の期首残高	7,464	10,891
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	175
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	82	—
現金及び現金同等物の期末残高	10,891	10,791

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、当連結会計年度より費用処理年数を主として9年に変更しております。

なお、この変更による当連結会計年度の損益に与える影響は軽微です。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、ガラスびん・プラスチック容器・ニューガラス製品の製造・販売、ならびにこれに関連した各種機器・プラント類の設計・製作・販売や、輸送・保管・構内作業等の事業活動を展開しております。

当社は、これらの事業活動から「ガラスびん関連事業」・「プラスチック容器関連事業」・「物流関連事業」・「ニューガラス関連事業」の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成方法と概ね同一です。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	47,753	7,556	13,700	2,751	71,761	153	71,914	—	71,914
その他の収益	—	—	960	—	960	—	960	—	960
外部顧客への売上高	47,753	7,556	14,660	2,751	72,721	153	72,874	—	72,874
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	422	8,906	9	9,338	0	9,339	△9,339	—
計	47,753	7,979	23,566	2,760	82,060	153	82,213	△9,339	72,874
セグメント利益 又は損失 (△)	3,712	430	651	△197	4,596	△90	4,506	△53	4,452
セグメント資産	38,364	6,522	7,519	3,635	56,042	183	56,225	37,918	94,144
その他の項目									
減価償却費	2,419	356	336	214	3,326	19	3,346	200	3,547
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,867	96	37	88	4,089	—	4,089	179	4,269



当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財 務諸表 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
顧客との契約から生じ る収益	47,043	8,269	14,000	3,107	72,421	172	72,593	—	72,593
その他の収益	—	—	743	—	743	—	743	—	743
外部顧客への売上高	47,043	8,269	14,744	3,107	73,164	172	73,337	—	73,337
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	384	8,741	9	9,150	0	9,150	△9,150	—
計	47,057	8,653	23,485	3,117	82,315	172	82,487	△9,150	73,337
セグメント利益 又は損失 (△)	2,143	563	769	186	3,663	△269	3,393	△285	3,108
セグメント資産	37,763	6,797	7,462	3,890	55,914	181	56,095	38,758	94,853
その他の項目									
減価償却費	2,880	314	269	187	3,650	103	3,754	193	3,948
減損損失	—	—	—	—	—	913	913	—	913
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,173	392	23	49	3,639	—	3,639	409	4,048

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、植物事業を含んでおります。  
2. 調整額の内容は以下のとおりです。

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去等	△9,339	△9,150
合計	△9,339	△9,150

(単位：百万円)

セグメント利益 又は損失 (△)	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去等	103	154
その他の調整※	△156	△440
合計	△53	△285

※その他の調整には、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外  
損益調整等が含まれております。

(単位：百万円)

セグメント資産	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去等	△3,355	△1,739
全社資産※	41,274	40,497
合計	37,918	38,758

※全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない全社の資産です。

(単位：百万円)

減価償却費	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産※	200	193
合計	200	193

※全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない全社の資産です。

(単位：百万円)

有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去等	－	－
全社資産※	179	409
合計	179	409

※全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない全社の資産です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	5,036円57銭	5,359円18銭
1株当たり当期純損益金額	1,200円73銭	271円54銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損益金額の算定上の基礎は、次のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損益金額 (百万円)	12,261	2,772
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損益金額 (百万円)	12,261	2,772
普通株式の期中平均株式数 (千株)	10,211	10,210

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

#### 4. その他

(1) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他役員の変動(2025年6月26日付予定)

・監査等委員である取締役候補者〔新任〕

氏名	現役職	新役職
佐貫 正義	執行役員 監査等委員会室長	取締役 常勤監査等委員
近谷 逸郎	－	取締役 監査等委員(社外)

・退任予定取締役

氏名	現役職	新役職
水田 好彦	取締役 常勤監査等委員	顧問
井上 善雄	取締役 監査等委員(社外)	－

以上